

英語 3 : 303-3-DP1・DP2・DP3・DP4・DP6

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	*小峯 千明 (保存修復学)

学修目標 (GIO) と単位数	・単位数：1 ・学修目標 (GIO)：国内外の歯科医療の現状を理解するために、口腔外科学を通して英語を修得する。
担当教員	*久山 佳代、*有川 量崇、*小峯 千明、田口 千恵子、*深津 晶、*伊東 浩太郎、*内田 貴之、岡田 優一郎、*鈴木 到、長島 輝明、赤木 南美、*石井 良昌、*野田 一
教科書	歯科ナビ 第5版 岡田優一郎、岩脇清一 東京メディカルスクール 病理学・口腔病理学提要 日本大学松戸歯学部病理学講座編 日本大学松戸歯学部病理学講座
評価方法 (EV)	平常試験を2回行い (50%×2回=100%) 評価する。各平常試験に対する再試験は行わない。最終評価は、2回の平常試験の成績により決定する。最終評価が合格点 (60点) に達しない場合、全範囲についての再試験を実施する。また、再試験の追・再試験ならびに追試験の追・再試験は行わない。 授業に対して4/5を超えた出席を必要とする。授業を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験の再試験受験資格を喪失する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	国内外の歯科医療の現状を理解し、国際社会で活躍できる基本的能力を身につけることは重要です。また近年の歯科医師国家試験において、歯科医学に関連した英語が出題されています。これらのことを意識しながら、歯科医学英語について理解できるよう学修に取り組んでください。特に口腔外科学を通して歯科医学英語について説明します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 1時限 09:00~10:30	類天疱瘡、動脈硬化、蜂窩織炎の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、類天疱瘡、動脈硬化、蜂窩織炎に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 類天疱瘡を英語で説明できる。 2. 動脈硬化を英語で説明できる。 3. 蜂窩織炎を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：類天疱瘡、動脈硬化、蜂窩織炎についての英語を調べておく。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 b 天疱瘡、類天疱瘡</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 b 口腔・頸部軟組織の炎症 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 オ 循環障害 a 全身の循環障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-4) 循環障害 ③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 C-5-5) 炎症 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/09/16 (水) 1時限 09:00~10:30	扁平上皮癌、腺様嚢胞癌、GVHDの英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、扁平上皮癌、腺様嚢胞癌、GVHDに関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 扁平上皮癌を英語で説明できる。 2. 腺様嚢胞癌を英語で説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/16 (水) 1時限 09:00～10:30	扁平上皮癌、腺様嚢胞癌、GVHDの英語	<p>3. GVHDを英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：扁平上皮癌、腺様嚢胞癌、GVHDについての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 h 悪性腫瘍</p> <p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 z その他</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。 ⑤前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/09/30 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節強直症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症、再生不良性貧血、Quinke浮腫の英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、顎関節強直症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症、再生不良性貧血、Quinke浮腫に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節強直症を英語で説明できる。 2. 筋突起過長症を英語で説明できる。 3. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症を英語で説明できる。 4. 再生不良性貧血を英語で説明できる。 5. Quinke浮腫を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：顎関節強直症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症、再生不良性貧血、Quinke浮腫についての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候</p> <p>1 全身の症候 オ 血液・造血器、免疫</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態</p> <p>1 病因・病態 ク 免疫異常 c アレルギー（過敏症）</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形を来す疾患・病態・診断 c 顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 k 顎関節強直症 m 咀嚼筋腱・腱膜過形成症</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/30 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節強直症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症、再生不良性貧血、Quincke浮腫の英語	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ⑤アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 顎関節疾患 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 ①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。 ⑥口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/10/07 (水) 1時限 09:00～10:30	内歯瘻、Ramsay Hunt症候群、血管腫、骨形成不全症、Treacher Collins症候群の英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、内歯瘻、Ramsay Hunt症候群、血管腫、骨形成不全症、Treacher Collins症候群に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内歯瘻を英語で説明できる。 2. Ramsay Hunt症候群を英語で説明できる。 3. 血管腫を英語で説明できる。 4. 骨形成不全症を英語で説明できる。 5. Treacher Collins症候群を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：内歯瘻、Ramsay Hunt症候群、血管腫、骨形成不全症、Treacher Collins症候群についての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 g 外歯瘻、内歯瘻</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 イ 遺伝性疾患（主に口腔に症状がみられる） d 骨形成不全症 b Treacher Collins症候群 3 口腔・顎顔面の疾患 ウ ウイルス感染による疾患 b 水痘・带状疱疹 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 b 非歯原性良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤 C-2-2) 遺伝子と遺伝 ④遺伝性疾患の発生機序を説明できる C-3 人体の構造と機能 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ③人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ②腫瘍の病因を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/10/14 (水) 1時限 09:00～10:30	IgG4関連疾患、Sjögren症候群、Gardner症候群の英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、IgG4関連疾患、Sjögren症候群、Gardner症候群に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	IgG4関連疾患、Sjögren症候群、Gardner症候群の英語	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IgG4関連疾患を英語で説明できる。 2. Sjögren症候群を英語で説明できる。 3. Sjögren症候群を英語で説明できる。 4. Gardner症候群を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：IgG4関連疾患、Sjögren症候群、Gardner症候群についての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 j IgG4関連疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 e 骨関連病変 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 e Sjögren症候群</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ③骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。</p>	*野田 一
2026/10/21 (水) 1時限 09:00～10:30	莓状舌、Turner症候群、外科治療：開窓術、類表皮嚢胞、アミロイドーシスの英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、莓状舌、Turner症候群、外科治療：開窓術、類表皮嚢胞、アミロイドーシスに関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 莓状舌を英語で説明できる。 2. Turner症候群を英語で説明できる。 3. 外科治療：開窓術を英語で説明できる。 4. 類表皮嚢胞を英語で説明できる。 5. アミロイドーシスを英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：莓状舌、Turner症候群、外科治療：開窓術、類表皮嚢胞、アミロイドーシスについての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 キ 軟組織、唾液腺</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 エ 染色体異常 b Turner症候群 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療 a 顎骨腫瘍の外科療法</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/21 (水) 1時限 09:00～10:30	莓状舌、Turner症候群、外科治療：開窓術、類表皮嚢胞、アミロイドーシスの英語	1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞 z その他 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/10/28 (水) 1時限 09:00～10:30	歯原性粘液腫、McCune-Albright症候群、毛様白板症の英語	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯原性粘液腫、McCune-Albright症候群、毛様白板症に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯原性粘液腫を英語で説明できる。 2. McCune-Albright症候群を英語で説明できる。 3. 毛様白板症を英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯原性粘液腫、McCune-Albright症候群、毛様白板症についての英語を調べておく。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 k 白板症 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 f 線維骨性病変 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。 ②腫瘍の病因を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ⑤前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 ⑥口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/11/04 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験1 解説講義	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、第1回から7回の内容について整理する。 【行動目標（SBOs）】 1. 類天疱瘡、動脈硬化、蜂窩織炎を英語で説明できる。 2. 扁平上皮癌、腺様嚢胞癌、GVHDを英語で説明できる。 3. 顎関節強直症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症を英語で説明できる。 4. 再生不良性貧血、Quincke浮腫を英語で説明できる。 5. 内歯瘻、Ramsay Hunt症候群、血管腫を英語で説明できる。 6. 骨形成不全症、Treacher Collins症候群を英語で説明できる。 7. IgG4関連疾患、Sjögren症候群、Gardner症候群を英語で説明できる。 8. 莓状舌、Turner症候群、外科治療：開窓術を英語で説明できる。 9. 類表皮嚢胞、アミロイドーシスを英語で説明できる。 10. 歯原性粘液腫、McCune-Albright症候群、毛様白板症を英語で説明できる。	岡田 優一郎 *有川 量崇 田口 千恵子 *鈴木 到 長島 輝明 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/04 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験1 解説 講義	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：第1回から7回までの講義内容をアウトプット出来るように学習しておく。 ・準備学修時間： 60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念</p> <p>k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-5 病因と病態</p> <p>C-5-1) 病因論と先天異常</p> <p>②環境と疾患の関係を説明できる。</p> <p>C-5-4) 循環障害</p> <p>①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。</p> <p>C-5-6) 腫瘍</p> <p>①腫瘍の定義を説明できる。</p> <p>②腫瘍の病因を説明できる。</p> <p>③上皮異形成を説明できる。</p> <p>④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。</p> <p>⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p> <p>⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。</p>	岡田 優一郎 *有川 量崇 田口 千恵子 *鈴木 到 長島 輝明 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/11/11 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節前方脱臼、 Küttner腫瘍、Frey 症候群、外科治 療：部分切除の英 語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、顎関節前方脱臼、Küttner腫瘍、Frey症候群、外科治療：部分切除に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節前方脱臼を英語で説明できる。 2. Küttner腫瘍を英語で説明できる。 3. Frey症候群を英語で説明できる。 4. 外科治療：部分切除を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：顎関節前方脱臼、Küttner腫瘍、Frey症候群、外科治療：部分切除についての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療</p> <p>d 顎関節脱臼</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療</p> <p>b 外科療法</p> <p>3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療</p> <p>c 唾液腺損傷</p> <p>i 腫瘍類似疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p> <p>E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患</p> <p>③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。</p> <p>E-2-4) - (8) 唾液腺疾患</p> <p>③唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p> <p>④唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/11/18 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節症、歯牙腫、 唾石症の英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、顎関節症、歯牙腫、唾石症に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	顎関節症、歯牙腫、唾石症の英語	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 顎関節症を英語で説明できる。 歯牙腫を英語で説明できる。 唾石症を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：顎関節症、歯牙腫、唾石症についての英語を調べておく。 準備学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 1 顎関節症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 k 唾石症</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (7) 顎関節疾患 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (8) 唾液腺疾患 ②唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	*野田 一
2026/11/25 (水) 1時限 09:00～10:30	エナメル上皮腫、変形性顎関節症、水痘帯状疱疹の英語	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医学英語を理解するために、エナメル上皮腫、変形性顎関節症、水痘帯状疱疹に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> エナメル上皮腫を英語で説明できる。 変形性顎関節症を英語で説明できる。 水痘帯状疱疹を英語で説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：エナメル上皮腫、変形性顎関節症、水痘帯状疱疹についての英語を調べておく。 準備学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 ウ ウイルス感染による疾患 b 水痘・帯状疱疹</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 1 顎関節症</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明でき</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/25 (水) 1時限 09:00～10:30	エナメル上皮腫、 変形性顎関節症、 水痘帯状疱疹の英 語	る。 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ③上皮異形成を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/12/02 (水) 1時限 09:00～10:30	下顎枝矢状分割術、 唇顎口蓋裂、Behç et病の英語	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、下顎枝矢状分割術、唇顎口蓋裂、Behçet病に 関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎枝矢状分割術を英語で説明できる。 2. 唇顎口蓋裂を英語で説明できる。 3. Behçet病を英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：下顎枝矢状分割術、唇顎口蓋裂、Behçet病についての英語を 調べておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 ア 口腔・顎顔面の先天異常 b 口唇裂・口蓋裂 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 g Behçet病 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 顎顔面骨の変形に対する治療 a 顎矯正手術 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/12/09 (水) 1時限 09:00～10:30	扁平苔癬、悪性貧 血、歯根嚢胞、鰓 嚢胞の英語	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、扁平苔癬、悪性貧血、歯根嚢胞、鰓嚢胞に関 する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 扁平苔癬を英語で説明できる。 2. 悪性貧血を英語で説明できる。 3. 歯根嚢胞を英語で説明できる。 4. 鰓嚢胞を英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：扁平苔癬、悪性貧血、歯根嚢胞、鰓嚢胞についての英語を調 べておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 オ 血液・造血器、免疫 【国家試験出題基準 (副)】	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/09 (水) 1時限 09:00～10:30	扁平苔癬、悪性貧血、歯根嚢胞、鰓嚢胞の英語	<p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞 i 口腔扁平苔癬 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯源性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/12/16 (水) 1時限 09:00～10:30	粘液嚢胞、腺腫様歯源性腫瘍、石灰化歯源性嚢胞の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、粘液嚢胞、腺腫様歯源性腫瘍、石灰化歯源性嚢胞に関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 粘液嚢胞を英語で説明できる。 2. 腺腫様歯源性腫瘍を英語で説明できる。 3. 石灰化歯源性嚢胞を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：粘液嚢胞、腺腫様歯源性腫瘍、石灰化歯源性嚢胞についての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 f 粘液嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯源性良性腫瘍 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯源性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2026/12/23 (水) 1時限 09:00～10:30	白血病、多形腺腫、ドライソケットの英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、白血病、多形腺腫、ドライソケットに関する英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 白血病を英語で説明できる。 2. 多形腺腫を英語で説明できる。 3. ドライソケットを英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：白血病、多形腺腫、ドライソケットについての英語を調べておく。 ・準備学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/23 (水) 1時限 09:00～10:30	白血病、多形腺腫、 ドライソケットの 英語	<p>各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 g 白血病</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 a 歯槽骨炎、顎骨炎 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 c 唾液腺損傷 g 良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。</p>	岡田 優一郎 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一
2027/01/13 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験2 解説 講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、第8回から15回の内容について整理する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節前方脱臼、Küttner腫瘍を英語で説明できる。 2. Frey症候群、外科治療：部分切除を英語で説明できる。 3. 顎関節症、歯牙腫、唾石症を英語で説明できる。 4. エナメル上皮腫、変形性顎関節症、水痘帯状疱疹を英語で説明できる。 5. 下顎枝矢状分割術、唇顎口蓋裂、Behçet病を英語で説明できる。 6. 扁平苔癬、悪性貧血、歯根嚢胞、鰓嚢胞を英語で説明できる。 7. 粘液嚢胞、腺腫様歯原性腫瘍、石灰化歯原性嚢胞を英語で説明できる。 8. 白血病、多形腺腫、ドライソケットを英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：第8回から15回の講義内容についてアウトプット出来るように学習する。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 コ 腫瘍 e 腫瘍と宿主の関係</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 b 非歯原性良性腫瘍 g 白血病 b 外科療法</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ②腫瘍の病因を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(7) 顎関節疾患 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	岡田 優一郎 *有川 量崇 田口 千恵子 *鈴木 到 長島 輝明 赤木 南美 *石井 良昌 *野田 一